

小売業者6社連携体を設立し、共同仕入れによるコスト削減を実現！

有限責任事業組合MSC(未来スポーツチェーン)(福岡県)

メーカーや問屋からの共同仕入れによるコスト削減、システム合理化、連携による売上拡大を目的として、九州圏内のスポーツ用品小売6社が出資して設立した有限責任事業組合。

1. 相談のきっかけ

- ・スポーツ用品小売店6社が仕入れコスト削減等を目的として共同組織の構築を検討していた。
- ・中小機構九州の窓口相談員から当拠点を紹介され、来訪に至った。



2. 課題整理・分析

- ・共同仕入れ組織はコスト削減のメリットがある一方、組織内メンバーの支払が滞った際のリスクヘッジの仕組みや、仕入先へ預ける保証金の分担方法など、組織構築上の決定すべきルールが複雑に存在する。
- ・規模が大きく異なる6社が全て納得できる形の組織・仕組みとする必要がある。

3. 解決策の提案

- ・論点を整理し、組織形態や負担割合などの選択肢を複数提案した。特に、有限責任であり、組織設計の自由度が高い有限責任事業組合(LLP)の設立を勧めた。
- ・大手メーカーとの仕入交渉のためには、多額の出資金が必要であるが、まずは少額でも出資しあい、できるところから動き出すようアドバイスし、組織化を後押しした。また、ビジョンや事業計画の策定を支援した。



4. 成果

- ・当拠点から提案した有限事業組合が設立され、事業が開始された。
- ・交渉の末、取引額の大きな問屋への共同仕入れが実現し、6社のうち最も有利な掛け率で、他の5社も仕入れることができるようになり、仕入れコストの削減を成し遂げることができた。
- ・さらに、他のメーカーや問屋等の仕入先に対しても、同様の交渉を行っており、さらなる仕入コスト削減につなげていく方針である。
- ・本件共同仕入れを端緒として、今後はシステム共通化による合理化、連携による売上拡大を企図しており、当拠点として支援を継続していく。

<相談者の声>

小売店6社は複数の県にまたがっているため、新組織を作るにあたり、どこに相談すればよいか困っていたところ、よろず支援拠点と出会うことができてよかった。当拠点からは、客観的なアドバイスや様々な情報提供に加え、暖かい励ましを受けたことで、組合設立における意思決定を大いに助けられた。